

## ハピネット

7552 東証1部

2018年11月12日(月)

Important disclosures  
and disclaimers appear  
at the back of this document.

フィスコアナリスト

### ■ 2Q 増収増益、映像音楽事業が好調に推移

ハピネット<7552>は9日、2019年3月期第2四半期(18年4月-9月)連結決算を発表した。売上高が前年同期比23.3%増の1,045.80億円、営業利益が同9.0%増の19.20億円、経常利益が同12.9%増の18.51億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が同5.7%増の11.03億円となった。

玩具事業の売上高は前年同期比1.7%増の317.36億円、セグメント利益は同9.3%減の8.08億円となった。バンダイの「仮面ライダージオウ」や「HUGっと!プリキュア」関連商品、BANDAI SPIRITSの「一番くじ」関連商品が堅調に推移し、売上高は前年同期とほぼ横ばいとなった。利益面においては、同社オリジナル玩具の評価損失の計上などにより前年同期を下回った。

映像音楽事業の売上高は前年同期比126.6%増の428.96億円、セグメント利益は同143.8%増の7.59億円となった。安室奈美恵の「namie amuro Final Tour 2018 ~ Finally ~」が好調に推移したことや、星光堂の音楽映像パッケージの卸売事業を承継した子会社の業務改善により、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回った。

ビデオゲーム事業の売上高は前年同期比19.1%減の201.11億円、セグメント利益は同47.2%減の2.12億円となった。「Nintendo Switch」のハード及びソフトは引き続き堅調に推移しているものの、前年同期に比べて大きなヒット商品に恵まれなかったことなどにより、売上高、利益面ともに低調に推移した。

アミューズメント事業の売上高は前年同期比0.0%増の98.36億円、セグメント利益は同0.2%増の7.62億円となった。カードゲーム商材等は低調に推移したが、イベント販売や新規ロケーションの開拓を行ったことなどによりカプセル玩具は堅調に推移し、売上高、利益面ともに前年同期と横ばいとなった。

2019年3月期通期の連結業績予想については、売上高が前期比16.4%増の2,300.00億円、営業利益が同4.0%増の50.00億円、経常利益が同2.1%増の48.00億円、親会社株主に帰属する当期純利益が同20.6%減の32.00億円とする期初計画を据え置いている。

#### ディスクレーマー（免責条項）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ